（第三種郵便物認可 大正三年八月七日）　昭和十二年十二月十四日　THE IWAKIJIHO　（火曜日）　（第七千九十八號）（一）

夕刊 磐城時報

十三日
編輯兼發行 岡田弘成
印刷人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

皇軍の奮闘ぶりに 自ら頭が下る

鎌田町出身鈴木君から 勇壯な陣中通信

平市鎌田町白土醫院白土德彌氏弟で看護兵として出征し上海方面で活躍してゐる鈴木傳吾君から左の如き戰地通信があつた。

○月一日勇躍○○港出帆○日支那○○に淀泊、○○阜頭に上陸しました、同所で一夜露營し翌日早朝揚子江岸の寶山城に入城致しました、此處は二三日前に占領した處で野戰豫備院を開設し戰病傷者の收容看護に當りました、小生は伍長に昇進しました、當地は傳染病が流行してゐます、その犧牲者も相當多數ありますが小生幸ひにして益々元氣で任務を遂行しつゝあります、同地で四十日を送り更に前進○○地に於て同樣敵陣雨の中夜になると敵機飛來し去る○月○○日には爆彈二個見舞はれました、幸ひ吾が部隊には損害ありませんでした、皇軍の奮闘ぶりには何れも自ら頭が下らざるものはありません。支那の氣候は內地同樣ですが大陸氣候故に寒暑の變動が甚しく暑くなると支那特有の蠅がブン〳〵して困ります、支那は非常に不潔な處です、過般患者後送のため上海に參りました、外國租界は變らないが支那街は何れも同樣にて敗殘そのものを考へさせられます。

錦校と平第三校 劍道大會に優勝

きのふ平第三校で熟戰

第四回郡下小學兒童の劍道大會は十二日平第三小學校講堂で擧行、各學校代表選手六十五名の選手が火花を散らして熱戰の結果高等科は錦校、尋常科は平第三校が優勝し榮えある優勝旗を獲得した。錦校は第二回にも優勝したが第三回は平第一校に榮冠を奪はれたのを今回又取かへしたもので、平第三校は昨年迄三回連勝して優勝旗を永久に獲得したわけである。

☆尋常科（團体試合）
1三八点平第三、2三一平第一、3一九好間、4大浦、5磐崎

個人試合
1平第三青戸孝裕、2同酒井俊男、3同清橋英治、4同遠藤芳美、5平第一菊地武雄

☆高等科（團体試合）
1六點錦校、2六二平第一、3四七豐間、4三九四倉、5三七好間、6三〇高久、7二四草野、8一六磐崎

個人試合
1錦永井正巳、2平第一佐藤秀夫、3錦金成正、4同千葉國夫、5同鈴木三郎、6同菅野勝男、7平第一齋藤修三、8好間鈴木福保、9平第一吉田庄二、10豐間政井半吾、11平第一菅野宇之吉、12同佐藤豐。

林銃十郎大將 平市で時局講演

前首相林銃十郎大將は一月上旬來平する事になつたのでこれを好機とし平在鄕軍人會では大將に乞ふて時局講演會を開催する事になり目下準備を進めてゐる。

花嫁學校 二十五日竣功

磐城高女校內に建設された花嫁學校櫻丘會館は去月上旬着工以來工事順調に進み二十五日頃竣功するが、建坪は六十四坪ル▲サンス式建築で工費六千圓、階下は圖書室とし來年一月開館する事になつた、階上は裁縫料理等を主として花嫁教育を施す所謂花嫁學校に充てるもので來春四月に開所する。

荒川君 名譽の戰死

湯本町出身兩角部隊上等兵荒川正海君は上海戰線で名譽の戰傷を負ひ廣島病院で加療中の處十一日死亡した旨原隊に通知があつた。

出征兵の留守宅に 農事の勞力奉仕

奇特な小川村の白石さん

下小川村味噌野農白石示さんは最近同部落からの出征兵家族四戶のため自分の農具を持ち込んで稻コキ籾摺りなどを手傳ひ謝禮を拒絕し銃後の赤誠ぶりを示したので附近民から感謝されてゐる。

▲木炭騰る

需要期に入つた平地方の木炭相場は白米、糯米と步調を合せてぐん〳〵高騰一般お臺所を脅かしてゐるが、これは一昨年來の生產不足が祟つてゐるもので濱三郡同組合の生產統計を見ても去月中は豫定高より五萬俵減の十四萬俵、今月も二十五萬五千俵豫定が早くも上旬を越へるといふのに六千俵位の悲觀的なもので年度內生產高二百十五萬俵も精々百萬俵足らずの見込みとある、同組合では語る。

いまのところ昨年より一俵に付四五錢は高くなつてゐます、濱三郡を通じて製炭業者は專門が約百名、それに副業者千二百名位で目下のところはこの副業者が農閑季を利してどん〳〵稼いでくれるのに期待してます。と云ふやうな譯で降雪季を前にしてさなきだに生產不足を懸念され惱みとなつてゐる。

▲國防費獻金

市內四丁目三七橋本義司さんの愛娘チエ子さん（九）ノブさん（五）の二人は小遣錢を蓄へて三圓六十錢を、又同家の店員六人は屑紙を賣つた十二圓七十錢を何れも國防費として平署に寄托した。

▲酒造組合總會

石城酒造組合總會は二十五日頃平稅務署に開き過般東北六縣酒、醬油類品評會に入賞した鶴仙の賞狀を傳達する。

放火犯の檢証に 見物人黑山

去月市內四丁目東京堂靴店木田惣吉（二五）が保險金を目當てに自宅に放火した事件は平支部の豫審に附されてゐるが、十三日關口豫審判事は平署菊地部長刑事と共に木田を現場に連行して實地檢證を行つたが見物人群集し黑山を築いた。

荒川君は 模範青年

鹿島村出身荒川清一等兵は上海戰線で戰死を遂げた、同君は同村屈指の資產家荒川源重（五二）氏の長男で祖父吉松（八〇）さんは元村長を二期勤め、源重氏も村會議員で、清君は獨身の模範青年で滿洲事變に出征勳八等を賜つた勇士である。

平料理組合總會

平料理屋組合では十日午前十時から總會を開催協議に先立ち縣社子鍬倉神社で組合員中出征した

比佐三郎、青天日源一郎、谷口孝雄、大竹康、荻野秀雄

五氏の武運長久を祈願、料亭末廣で協議に移り役員改選の結果全部留任と決定また、雇傭人に對し月一回の公休を與へること、從來總會の招集を必要とした規約改正を今後は幹部に一任のこと、遊興費はすべて現金主義を嚴守すること等を決議、また酒、ビール類の價格を協定した。

傷兵から 奇特な寄附

平署に十二日朝「鄕土出身兵の慰問金に當てゝ下さい」といふ手紙に二圓を添えて送つて來た人があるが○○陸軍病院內清野とあるのみで詳細は判らない、傷病兵らしい。

內鄕村の 銃後會活躍

內鄕村では各炭礦に多數の婦女子を擁しながら銃後の奉仕が極めて幼稚であつたのを現村長沼田濱之助氏就任以來これを遺憾とし有志婦人とはかつて愛國婦人會への入會を勸奬し着々發展の途上にあつた、折柄支那事變の勃發は一層これに拍車をかけて負けじの炭礦魂は婦人報國の火と燃えて以來二、三ヶ月の短時日に實に一千名の新加盟を見一千三百名の會員となり一躍縣下都市分會と覇を爭ふ大世帶となつたが、單に頭數をもつて滿足するにあらずと全會員結束の力をもつて各方面へ活動の手を延ばすべく去月淺野記念館に總集會を開催した際の決議宣言を直ちに實行に移して出征將士の驛頭歡送五百餘名の出征軍人留守宅慰問、戰病死者の遺族弔問等矢繼早の活躍に、更に基礎を鞏固にし村民等しく賞讃の的となつたが更にその手をゆるめず今回慰問袋一千余個を戰線へ發送した外國防獻金百圓を贈るなどその活動ぶりは一般より稱讃されてゐる。

▲給女行衛不明

和歌山縣西牟婁郡串本町治郎吉次女中田しづ子（十九）は東京市內で女中奉公をしてゐたが突然行衛不明になつたので搜索中であつたが最近に至り平市內に入り込み女中をしてゐるらしいからと實兄の壽男から平署に搜索方を願ひ出でた、嘸によるとしづ子は上海から來たといふ夫婦連れに誘拐されたらしく齋藤或ひは加藤とし子と僞名前記夫婦と兄妹の如く裝ふてゐる同女は斷髮女である。

募集廣告
男女工數名
右至急募集す
委細面談
加納活版所

藥劑士 堀功調劑
よく効くめぐすり 神教水 一瓶二〇錢
發賣元 魁文堂

☆各種清酒品評會成績
昭和六年以來全縣下最優等連續入賞
昭和八年以來東北六縣下最優等連續入賞
昭和九年全國最優等連續入賞

於第七回東北六縣清酒品評會

酒 菊 正

名譽賞受領

いよ〳〵爽北第一の酩酒となりました
何卒倍舊の御愛顧を御願ひいたします

若松市
醸造元　宮森榮四郎
平市
特約店　永山酒店
電話二〇七番

☒互融會事業報告　十月中

融通口數　九三口
融通金額　四、三八〇、〇〇〇
滿期拂戻口數　八八口
滿期拂戻金額　四、〇〇五、〇〇〇

概況　昭和十二年十月末現在
會員數　八、三三一口
世帶數　五、四五五戶
積立金　一一四、九四二、七七
融通金額　一四四、七五五、〇七
融通金回收高　六二、三四六、五〇
滿期拂戻口數　四二三口
滿期拂戻金額　一九、三五〇、〇〇

一、社會公共事業及指導事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奬勵
一、小資本金ノ相互融通

太平火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所　福島縣平市搦槌小路一番地
電話五五五番

小名濱方部　湯本方部　相双支部
小名濱町古港　湯本町天王崎　原町東一番町
菊田方部
植田町臺町

干やなぎ
いか切込
の御注文は
ぜひ 仙魚店へ!!
御祝儀
御進物用鰹節
特に休哉美絡安に勉強仕ります
鰹鹽辛　もあります
丸仙魚店
平市土橋（電話六六二番）

魚召すならヒラメ料理
おいしい
鯛　マナ鰹　ワカサギ
エビ　甘鯛　帆立貝
白魚　カナ頭　うに貝燒
日本產業手特約（電話三八三六番）
御小賣　平製氷會社
販賣所　魚問屋
四丁目　五二八番

新鮮な冷凍貝燒あります

開業廣告
齒科一般
平市田町（安濟醫院向）
齋藤醫院
東京齒科醫學士　齋藤賢三

福島縣平市
油と味と香
鹽屋
電話（營業部專用一〇番　一般用二七番）
振替東京一九七五五番
明治生命　磐城代理店　山崎與三郎

開院廣告
平病院　電六四一番
平市警察署側（元共濟病院跡）
院主　醫學博士　鈴木定藏
院長

內科　院長　醫學博士　鈴木定藏
小兒科　部長　醫學士　木下基一
產婦人科　部長　醫學士　池谷宗三郎
外科
皮膚泌尿器科
レントゲン科　院長　醫學博士　鈴木定藏
物理的療法科　技師　岡田重德
藥劑科　部長　藥劑師　吉本孝平

◎診療時間　每日午前八時ヨリ午後九時迄
夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ入）
往診隨時
病室完備…入院隨時【自炊ノ便アリ】
入院料　一日　特等貳圓、一等壹圓五拾錢
二等壹圓參拾錢

平驛前
昭和タクシー
電話　三四三〇番（サシミ）

☒三百年の歷史を有する
家傳靈藥
相馬ハンサキ消食散
一名かげの藥
代理店　平市大町　丸龜商店　電話一三三番

特許新洗劑
モノゲン
漬けて十分間
揉まずに落ちる
モノゲンは油と石鹼から製って居て、石油系溶劑アルコールと云ふ組合から製造されたもので、水に溶いても中性で石鹼を製って生地を縮める事なく、日本人絹やステープル製品も安心に使ます。に、白物はじめ、美しく洗へ、其上部品しが樂で、どんな生地でも縮まに洗へる新洗劑です
容量　一・二〇　三〇　五五
ゲンブマルセール石鹼本舖　第一工業製藥株式會社

ゲンブ石鹼
綿、麻、絹織物等のお洗濯に、何度洗つても生地に生地を縮めず、完全に汚れ物を落し、美しく純白に仕上げ、且又その上皮膚を良くするのがゲンブマルセール石鹼の最大特徴です。又衛生ひに用ひても最適です。
商標デパートの

特約店　中野洋品店　平二・電五三